

令和 6 年度事業報告書 <デイサービスセンターいこい・ほほえみ>

テ ー マ： ICT 導入による職員育成と働きやすい職場作りをめざした効果的な利用者支援

サブテーマ： 科学的介護（LIFE）活用により、自立支援・重度化防止を重視した質の高いサービスの推進

1. 令和 6 年度の介護報酬改定に合わせた適正なサービスの提供

- ①介護報酬改定に伴い、業務継続計画未実施減算や高齢者虐待防止措置未実施減算などが開始され、これらの対象とならないようマニュアルの見直しや研修に取り組み、虐待防止研修は全職員が参加できた。
- ②介護保険ソフトの入れ替えで通所介護計画書の書式が一新したため、現状に合うようひな形およびマニュアルを作成し、令和 7 年度の本稼働に備えた。職員は全員が e-learning に取り組むことができた。

2. ICT を活用した、安全安心な運営を目指す

- ①災害及び感染症対応の BCP マニュアルを元に、令和 6 年度は訓練を実施したが、コロナ対応については今後も毎年改定が必要（感染症対応の訓練は全員参加）。
- ②送迎時間帯に被災した想定訓練を、初めて NTT のシステムを活用して実施したが、想定以上に連絡がスムーズでなく課題も多くあげられたが、職員の防災の意識が高まった。
- ③アプリを活用し、利用者やケアマネージャーへの一斉連絡を実施し、業務の効率化を図ることができた（固定電話の不通、雪による休園、コロナ関連等、計 23 回）。7 月にコロナが発生したが、職員 1 名、利用者 8 名にとどまり稼働率に大きな影響は及ばなかった。

3. 地域から選ばれる施設となり、安定した運営に繋げる。

- ①一般型デイでの対応が難しくなったご利用者の受け入れを積極的に行い、稼働率を安定させることにも繋がった（法人内移行は 3 名）。

- ②利用者の認知症の個々の状態に合わせて、空間や席の配置をその都度変更し、安心して過ごせる居場所づくりを行った。また、運営推進会議を年2回開催し、事業所の活動報告と地域の方々との意見交換の場にした。
- ②コロナ禍で中止していた、あいあい祭りへのブース出展を再開し、地域交流と広報の場となった。